

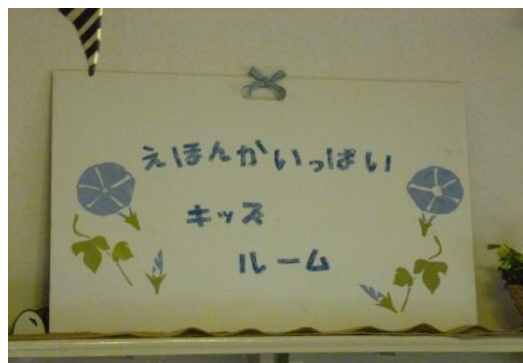
絵本の読み聞かせコーナー

～可愛い子供部屋に絵本がいっぱい～

IN 横浜山手234番館

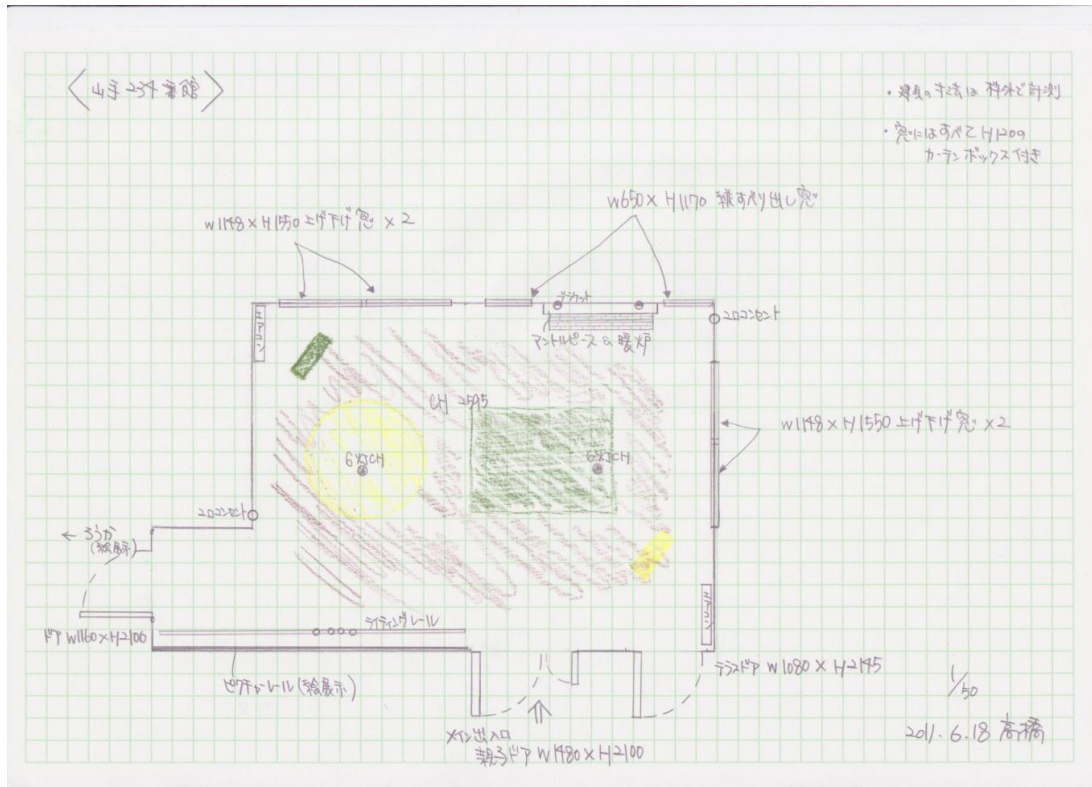
☆ 2011年8月18日(木)～8月22日(月)☆

夏休みの横浜山手234番館での子供向けイベント”絵本の読み聞かせ”は、可愛い子供部屋という設定の中、絵本作家のこがようこさんとその他、ボランティアの方々による子供のための楽しいイベントでした。壁の一面は、近所の幼稚園児たちの絵画展として絵を飾るスペースだったので、たくさんの家族連れが、見に来てくださいました。今回は234番館の館長さんに、お声掛けいただいたの実現だったのですが、子供部屋のコーディネート・絵本の読み聞かせ・絵画展という3つのコラボレーションは、お互いに良い相乗効果を生んだと思います。



まず現場採寸をして、簡単なイメージ図とともにコンセプトをまとめて、234番館の館長さんやスタッフの方に、OKをいただき話をすすめました。

このときに使用したイメージ図とコンセプトは次ページの通りです↓↓↓



①子供部屋のテーマ

「インドアキャンプ」

夏休みももう後半、アウトドアを満喫してる子も、まだどこにも行ってない子も、ドキドキワクワクのテントみたいな気分で絵本を読もう！！

②設定

6歳の男の子&女の子の双子のプレイルーム

③カラーテーマ

森をイメージするグリーン&ナチュラルをイメージするアイボリー

④素材

オーガニックコットン・麻素材・木のおもちゃなど、ナチュラルなものを中心に使用

⑤おもてなし

子供はラグでゴロゴロしながら、時にはママのお膝で自由に絵本を読もう
ちょっと飽きたら、木の積み木やおままごとで遊んでもよし

ちょっと疲れたパパ、散歩途中のおばあちゃんはベンチへどうぞ。

お客様は小さなお子様ばかりなので、触っても大丈夫な物・口に入れても大丈夫な物ということで、天然素材ということと、壊れにくい丈夫な物にこだわりました。そこで子育て中の会員から木のおもちゃをお借りして配置したり、さりげなく置いてあるぬいぐるみもオーガニックコットンで作成してみました。ハンモックも綿ロープで編んで、ウール100%の手作り双子テディベアを置き、ウェルカムボードも珪藻土塗りです。



よちよち歩きの小さい子も自分で絵本が読めるぐらいの子も、みんなが笑顔で遊んでいる、そしてそんな子供たちをご両親が眺めている・・・そんな幸せがいっぱいの空間で、私たちも幸せを分けてもらえました。

おまけですが・・・読み聞かせコーナーの取材でNHKのカメラが入り、朝の番組「おはよう日本」の関東ローカルで3分ほど、この部屋が映りました。ちょっとだけ嬉しいサプライズでした。



レポート作成 N.T.

神奈川インテリアコーディネーター協会設立 10 年目の記念イベントとなる、2011 年度 KICA フェスティバルが、横浜山手 234 番館にて 8 月 19 日～22 日の期間行なわれました。

今回私は、前日の設営のみ参加させていただきました。

設営にいたるまで、各ブース担当に分かれて、何度も打ち合わせやメールでのやりとりを重ね、実際打ち合わせには参加していない私でも、メーリングリストでのやりとりから、皆さんの熱気が伝わって来て、新入会員の私にとっては、実際の仕事とは別に忙しい時間を割いてこのプロジェクトに参加している皆さんのプロとしての意識の高さ、チームワークのよさなどに感心させられる毎日でした。



設営当日は、今まで文章でしか見ていなかったイメージの世界がどういう形で表現されるのだろうというワクワク感と、打ち合わせに参加出来ていない自分がお役に立てるのかという不安の気持ちで会場に向かいました。



到着後、各ブースの担当者の的確な指示のもと作業がはじまりました。

今回は 1 階エメラルド婚を祝うダイニングの部分ではじめての展示となり、私もとても楽しみにしておりました。もとのカーテンを取り外し、白のさわやかなレースのカーテンに付け替えたところ、ぱっと部屋全体が明るくなりました。館長さんが見に来られて、カーテンだけですごく雰囲気が変わるんですねと驚かされていました。新米 IC としてカーテンの重要性を実感出来た一場面でした。



カーテンのタッセルがまくらめで編んであったり、テーブルに飾られた竹の箸も、わざわざ竹を取りに行って手作りしたという話をあとから聞いて知ったのですが、今回の展示ではあらゆるところに手作りの温かみを感じる小物やパーツがほどこされていました。着物から仕立てた屏風は個性的で、洋館とのマッチングがどう仕上がるのか気になっていましたが、家具、テーブルコーディネートの器やお花、小物と加わっていくにつれ、全体が見事に調和され、和ならではの凛とした空気感、華やかで味わいのある空間が出来上がりました。



2階の展示も前回は一般客として拝見したのですが、今回は実際の設営している場面から見る事が出来、とても刺激を受けました。見えない部分での納まりなど細部にまで、先輩方のこだわりを感じる事が出来ました。



テーマである「祝」を感じる華さと、伝統を受け継ぐ豊かな暮らしを表現した空間となっており、文章でしか見ていなかった世界が具体的に表現されることの楽しさを実感することが出来ました。来場者の方々にも楽しんでいただけたようで、イベントの成功をとても嬉しく思います。

レポート作成 C.N.

2011年度KICAフェスティバルレポート No. 1

2011年度のKICAフェスティバルが、8月19日(金)～8月22日(月)の期間、横浜山手234番館にて行われました。

今回は神奈川県インテリアコーディネーター協会設立10年目の記念イベントとして、感謝の気持ちを未来へ・・・と題し、「祝」をテーマに、横浜の地で暮らしてきた家族が、その伝統を受け継いでいく暮らしを感じていただける展示を行いました。



今年1月、同じ234番館で行われたKICAフェスティバルが更にパワーアップして開催される事になり、どんな展示になるのか楽しみでした。

今回は1階のエメラルド婚のお祝いが加わり、前回の2階でのウェディング、ベビーの展示場も夏バージョンに変更するという事で、各チームに分かれて打ち合わせを重ねました。



2階は前回の展示物を活かせるものは活かしてディスプレイするという事でしたが、前回は寒い最中の1月、今回は夏、ということで、いかに軽やかに涼やかに見せる為の工夫をするかインテリアコーディネーターの腕の見せ所です。

ファブリックの色や、テーブルコーディネートにガラス器を使用し、見た目にもさわやかに、お花のカラーも夏らしく。

それぞれのチームで色々なアイデアが検討されました。



そして設営日当日。

今年一番の暑さといわれる中、お借りした家具や小物などがズラリと勢揃いしました。

2階チームは1度行っている会場なので、非常にスムーズにどんどん設営が進んでいきます。



1月に使用したファブリック類がレースを1枚かけただけで夏らしく変わる。
イメージ通りの実物を目の前にして、心が弾みました。

1階は着物で作成されたという屏風をメインに“和”を感じさせる、モダンな色使いとお花
で見事にお祝いのスペースが出来上がりました。



設営の合間に 234 番館を見学に来られた一般のお客様にもまだ途中であるにもかかわらず
「素敵ねえ」と声をかけて頂き、苦勞が報われました。

迎えた初日は朝から雨が降り、お客様の出足も心配されましたが、4日間のトータルでは予
想を上回るお客様にお越しいただくとともに、大変なお褒めの言葉も頂き、イベントは大
成功に終わりました。



レポート作成 M.M.